

# 旧北陸道の古寺を訪ねる コース

約 4.7km



高岡市では、にこにこ笑顔の毎月 25 日は「たかおか健康づくりの日」としています。  
この日はご自身やご家族で、地域で、健康づくりに取り組みましょう。

## みどころ

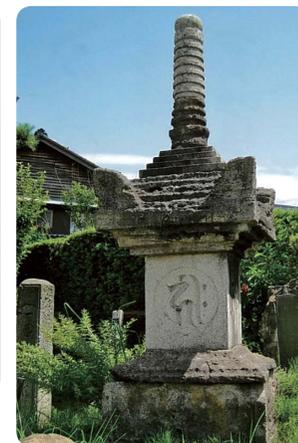
昔「石瀬野」と言われており、一面の野原でした。大伴家持が鷹狩をしたところで、その時に詠まれた歌碑が、マップ中の野村小学校のグラウンド内にあります。

「石瀬野に 秋萩しのぎ 馬並めて 初鷹狩だに せずや別れむ」『万葉集 4249 番』

### ① 真言宗 蓮華寺 (観音霊場 北陸二十五番札所)

寛喜二年(1230年)鎌倉大楽寺の観行律師が故ありて源頼朝の守本尊十一面観世音像を始め、多くの宝物を携えてこの地に来て七堂伽藍を建立したのが始まり。古来から観音霊場として人々の信仰を集めている。

本堂には源頼朝の供養像、木造十一面観世音菩薩立像、鉄鉢など富山県や高岡市指定の有形文化財や仏像、仏具など数多く安置されている。また境内には、県内最古級にして最大級の源頼朝公の分骨塔と伝えられる宝篋印塔がある。(高岡市指定文化財)



### ② 出来田 真言宗 万宝院

〈不動明王の言われ〉

昔、近くの川に滝があった。目の具合の悪い人がその水で目を洗ったところ見えるようになり、お礼に不動明王を祀ったと言われている。また、本堂には伏木の信者さん達から寄贈された三十三体の観音像や石碑が境内を囲むようにある。